

災害救援に行きませんか？！

日頃の活動に敬意を表します。
下記内容のご案内をさせていただきます。皆様方のご協力をお願い申し上げます。

— 記 —

- 1. お願い事項 ・ 台風および地震災害への救援活動（ボランティア）
- 2. 趣 旨 ・ 伊勢湾台風時にお世話になったお返しの活動
 ・ 最近の三重県内（海山町等）災害時にお世話になったお返しの活動
 ・ 今後の為の自身の体験
 ・ 自身として、議員として現地を見る大切な活動 e t c.
- 3. 具体的活動の概要

★日 時	2004年11月3日(水)～4日(木)
	・ 出発時間は後日調整 —— 事前に連絡します ・ 帰宅時間は当日の都合となりますが、夜の到着を予定方
★場 所	京都府宮津市または舞鶴市（状況によりどちらかへ・・・） ・ 三重県ボランティアセンターも現地へ行っており、その一員として活動します。
★メンバー	多度町議の希望者（江上が引率させていただきます） ・ 三重県からの支援の一員として参加します。
★内 容	現地復旧作業を手伝う —— 現地受付にて指示された作業となります。 ・ 予測では・・・畳、家具類の運び出し、床下の泥出し、掃除、水洗い 等 ・ 水害復旧作業にて、泥との闘いになると思います。

4. 服装、装備について —— 持っていく物
- 【必需品】 ・ 着替え ・ タオル（汗拭き用、掃除用） ・ マスク
 ・ 帽子またはヘルメット ・ 手袋（軍手とゴム）
 ・ カップ ・ 作業着 ・ 長靴
 ◇ 飲料 ◇ 弁当 ◇ お金（現地で保険加入）
 ◆ バール&ヤットコ類 ◆ ドライバー類
 ◆ スコップ類（角スコ、剣スコ）
 ◆ ウェス類
 ◇ 各自身の持病のクスリや防御品 等



5. その他
- ①. 三重県からの一員として活動します。勝手に町に入って勝手に活動はあり得ません。各地では便乗した詐欺事件等も発生しておりますので、素性は明確にして活動します。現地受付にて素性の登録と名前（名札）を付ける事になります。
 - ②. 私では邪魔になり何も出来ないのでは？・・・という心配は先ずあり得ません。何かできる仕事は有りますし、自分で見つけて活動となります。
 - ③. 好奇心にて被災者を冷やかしに行く事にならないか？・・・現地に到着すればその気持ちは解消！
 - ④. 自分の体力に合った仕事の仕方を優先します。休憩は遠慮なく取って下さい。
 - ⑤. 被災者（支援者宅）との会話や励ましは大切ですが、行き過ぎには気をつけねばなりません。
 [具体的には、後日や車中等にてご説明致します・・・]
 - ⑥. 参加希望や不問等については —— 江上までご連絡方（090-1623-8180）

◆ 皆様のご都合が良ければ・・・のお願いです。体験したいとの方は宜しくお願い致します ◆